

施策分析シート（令和6年度）

No1

施策名	高齢者の社会参加の促進			施策No	02-01		部課名	福祉部高齢者福祉課		
							課長名	山下	内線	2660
関連部課名	区民生活部区民施設課、福祉部福祉推進課									
行政評価 事業体系	分野	I	生涯健康都市							
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成							

目的

就労やボランティア活動、生涯学習や趣味、地域におけるサークル・団体活動等、高齢者一人一人が自ら希望する形で社会に参加し、生きがいを実感しながら、充実した生活を送ることができるよう、高齢者の社会参加を促進する。

指標

幸福実感指標名

指標の推移

3年度

4年度

5年度

指標に関する質問文

①

自分の役割・居場所がある実感度

3.69

3.70

3.68

家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？

②

③

④

施策の成果とする指標名

指標の推移

3年度

4年度

5年度

6年度見込み

目標値(8年度)

指標に関する説明

①

高齢者クラブ加入率（％）

9.05

8.33

7.97

7.55

12.00

会員数／60歳以上人口×100

②

荒川シルバー大学受講者数（人）

1,145

1,137

1,159

1,135

1,550

4月1日現在の受講登録者数

③

シルバー人材センター就業率（％）

81.2

77.4

77.6

77.0

80.00

就業実人員／会員数×100

④

⑤

（単位：千円）

行政コスト計算書

勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
給与関係費	16,536	24,637	8,101	地方税等	0	0	0
物件費	118,985	118,713	▲ 272	国庫支出金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	都支支出金	37,832	37,657	▲ 175
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等	71,695	74,165	2,470	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費	33,697	33,697	0	その他	10,918	9,081	▲ 1,837
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	48,750	46,738	▲ 2,012
賞与・退職給与引当金繰入額	1,622	2,830	1,208	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 194,181	▲ 207,304	▲ 13,123
その他行政費用	396	0	▲ 396	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)	242,931	254,042	11,111	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 194,181	▲ 207,304	▲ 13,123
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 194,181	▲ 207,304	▲ 13,123

貸借対照表

勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	773	1,316	543
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
有形固定資産	830,214	841,786	11,572	賞与引当金	773	1,316	543
土地	510,930	510,930	0	その他の流動負債	0	0	0
建物	1,248,055	1,293,325	45,270	固定負債	6,968	12,084	5,116
建物減価償却累計額	▲ 928,772	▲ 962,469	▲ 33,697	特別区債	0	0	0
工作物等	20,105	20,105	0	退職給与引当金	6,968	12,084	5,116
工作物等減価償却累計額	▲ 20,105	▲ 20,105	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	7,741	13,400	5,659
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	825,473	831,386	5,913
その他の固定資産	3,000	3,000	0	正味財産の部合計	825,473	831,386	5,913
資産の部合計	833,214	844,786	11,572	負債及び正味財産の部合計	833,214	844,786	11,572

財務諸表に関する特徴的事項等

○物件費のうち99.9％が委託料となっており、ひろば館（6館 管理運営委託）・老人福祉センター（指定管理）・授産場（指定管理）分の委託料等が計上されている。
○補助費等のうち63％をシルバー人材センターへの補助金が占めている。
○行政収入の「その他」には主に授産場事務費が計上されている。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○総務省統計局「労働力調査」の2022年の就業者数について見ると65歳以上が912万人となっており、高齢者雇用確保措置の導入が義務付けられた2006年から上昇しており、高齢となっても働く方が増えている傾向にある。 ○シルバー大学の受講者数は減少傾向にある。受講者の内訳を見ると、女性受講者に比べ男性受講者が少ない傾向にある。 ○シルバー人材センターの就業者数は1,300人程度、受託件数は7,000件程度で推移している。
課題	○高齢者の活動の方法や形態等が多様化しているため、高齢者一人一人や団体等それぞれのニーズに対応した的確な支援が求められる。 ○シルバー大学をはじめ、生涯学習や世代間交流、介護予防の取組に男性の参加を促す講座等のメニューを充実させることが求められる。これまで地域活動に参加したことのない高齢者の参加を促すための工夫が必要である。 ○シルバー人材センターを通じて高齢者の雇用機会の拡大を図るため、会員数・就業者数の増加と受注拡大を図る必要がある。 ○就業希望がありながら就業できない者もあり、多様な社会参加のあり方やその可能性等についての情報を提供し、支援を行っていく必要がある。
今後の方向性	○高年者クラブやコミュニティカレッジ卒業生等、様々な活動を行う高齢者又は団体への支援を通して、新たな活動形態の創出につなげる。 ○高年者クラブやシルバー大学の活動等の周知や運営の支援を行い、高齢者の社会参加の促進や閉じこもりの防止につなげる。また、様々な高齢者ニーズに対応するための方策を検討し、高年者クラブやシルバー大学をより多くの高齢者が活動できる場としていく。 ○シルバー人材センターの会員数拡大を図るため、同センターへの支援を行っていくとともに周知活動を充実させる。 ○ハローワークや社会福祉協議会等の関係機関と協力し、就労をはじめとした多様な社会参加への支援を行っていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
6年度	7年度	
重点的に推進	重点的に推進	高齢者が生きがいや活力を実感し、充実した生活を営むことができるよう、就労等の支援を行うとともに、生涯学習や趣味、地域におけるサークル・団体活動等を促進し、感染症予防に配慮した上で、社会参加の機会の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
高齢者事業運営費	04-03-02	45,309	44,730	42,221	41,008	推進	推進	高齢者の生きがいづくりの機会拡大に寄与するよう、気軽に参加できる魅力あるプログラムの展開を求められている事業であるため、推進する。
老人福祉センター管理運営	08-01-21	81,395	85,755	58,703	74,711	重点的に推進	重点的に推進	高齢者が自発的に介護予防を実践できるよう、魅力ある事業の展開と介護予防の啓発を図るため、重点的に推進する。
高年者クラブ助成事業	08-03-01	27,920	32,678	24,171	25,627	推進	推進	各クラブの活性化を図るため、引き続き推進する。
高齢者生きがい事業補助（シルバー大学）	08-03-02	2,685	4,512	1,935	1,868	継続	継続	会員数の拡大に向け、活動等の周知を図るとともに、魅力的な講座や活動が展開されるよう継続していく。
シルバー人材センター管理運営	08-03-03	47,018	49,195	44,244	46,110	継続	継続	シルバー人材センターの安定運営及び高齢者の就業充実のため、継続していく。
荒川授産場管理運営	08-03-04	38,603	37,172	19,801	48,824	継続	継続	本施設の目的に鑑み、引き続き安定的な運営を図る。
合 計		242,930	254,042	191,075	238,148			